保健室

静岡市立中藁科小学校

養護教諭　後藤　栄子

本校は、静岡市の北西部に位置し、中部管内唯一の分校がある学校です。本校校舎からは藁科川、分校からは朝比奈川を眺め、美しい緑に囲まれた自然豊かな中山間地です。児童数は本校92名、分校2名で、交流を生かした教育活動を行っています。保健行事も分校の子どもが本校に来て一緒に行います。

祖父母と同居の子どもが多く、落ち着いた環境の中で育っており、子どもたちは明るく素直で、頼まれた仕事は一生懸命に取り組みます。やさしい子が多い反面依存心が強く、自分でやり通す気持ちには弱い面が見られます。そのため、本校では教育目標を「豊かな心を持ち、自らきり拓く子」とし、教育活動を行っています。

子どもたちの一日は、職員室入口での元気なあいさつから始まります。休み時間には学校のシンボルである、樹齢百年を超える大銀杏の木の下で、異学年で群れ、元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られます。

保健室では、基本的生活習慣の身についていない子どもが多いという実態から本年度は「早寝、早起き、しっかり朝ごはん」を中心に望ましい生活習慣の定着を図ることを目指しています。6月に生活習慣アンケートを実施し、7月の学校保健委員会を皮切りに、家庭と連携して進めていきたいと考えています。

また、保健行事の一つとして、6、11、3月の第一土、日曜日を「いきいき健康日」とし、家庭で体重測定をしたり、家族で健康に関することを話し合ったりする場としています。本年度の6月のテーマは「歯みがき名人になろう」とし、「みがいた」から「みがけた」をキーワードに家庭で歯垢染め出しを行い、家族で一緒に歯みがきをして、歯や歯肉の健康について考える機会にしたいと思っています。それを受け、学校では6月後半に各学級で、養護教諭の歯科保健指導を行います。

基本的生活習慣の確立は、継続的な指導と家庭との連携が不可欠です。保護者会の資料や生活リズムカレンダー、保健便り等保健室から積極的に情報を発信し、家庭と一緒に健康教育を進めていきたいと思います。

今日も放課後の保健室には、話を聞いてもらいたい子、本を読んでいる子、折り紙をしている子、自由ノートにメッセージを書いている子、赤ちゃん人形を抱っこしている子等で大盛況です。「先生あのね」の子どもたちの声に「なあに」とやりとりしている中で、子どもの良さが見える楽しい時間になっています。

焼津市立東益津中学校

養護教諭　浅井佐智代

♪高草山のふもと原…
当目の浜の荒波に…
瀬戸の川瀬の照る月に…♪

と、校歌の歌詞に歌われるとおり、本校は山と海と川の自然環境に恵まれた穏やかな地域にあります。

また、本校の生徒にアンケートをとると、「授業が楽しいですか?」「好きな教科がありますか?」との問いに、八十%以上が「楽しみにしている教科があります」「○○の授業がとても好きです」という答えが返ってくる、そんな〝学校大好き〟という子どもたちの実態です。

しかし、その反面、自分に自信がもてなかったり、友達との人間関係に悩んで必要以上に気を遣っている生徒もいます。思春期の子どもたちにありがちな心の揺れ動きに対して、保健室からはどんな声かけが適しているのか、どうすれば子どもたちの心がつかめるのか模索している毎日です。

本校に赴任して三年目。「心とからだの学習」(つまり「性教育」)を定着させることができればいいなあ…と思いながら最近実践を始めています。自分の体を知って、相手の体も知る。そして心とからだは常に一体のものであることを知ってほしい。これらをねらいにおいて「性の学習」を進めているところです。学活の年間計画の中に位置づけ、担任が授業を進めるために授業案を提示したり、担任と二人で授業を行う場合もあります。まず一年生では自分の体を知ることから始めようと考えました。二次性徴が始まり、異性や同性を今までとは違った目で見つめることができるようになるのがこの時期です。個人差はあるけれども、誰もが同じような成長を遂げている真最中であることを客観的に理解できるといいなと思います。二年生では命の連続性を考えてみます。生命の誕生のしくみを学び、自分の体も次の命を生み出す力を持っているということを知り、命は一人だけでは生み出せないということを理解していきます。三年生になると、人と人との関わりをベースに、これからの自分の家族感を見つめていきます。パートナーを見つけ新しい家族を築いていく生き方、または、シングルで生きていく道も選ぶことができます。様々な人がそれぞれの生き方を見つけていくこと、それが「人生」であるということを伝えたいと思っています。

「性の学習」は「生きる学習」であると考えています。生き方や、生きるために大事なことは何かを考えていくことで自分を大事にすることができ、相手を大事にすることができるでしょう。自分を大切にすることができるようになると、自分に自信をもつことができ、相手のことを思いやることにつながるでしょう。時間の確保が難しい中でも必要最低限の「心とからだの学習」は定着させたいと思っています。生徒たちとともに「思春期」について考えたり悩んだりしながら、自分もまだまだ成長したいなと考えています。

～本年度の「学校保健セミナー」開催予定～

当協会と静岡県学校保健会が共催する「学校保健セミナー」に毎回大勢の方々のご参加をいただいておりますが、本年度の開催予定は次のとおりです。

① 20年9月29日(月) 13:30～　鈴木勝彦静岡県医師会長の講演
② 21年2月(日は未定) 13:30～　寺坂 㐀(アイチ)浜松医療学院学科長の講演

両セミナーとも会場は静岡市内、また演題は未定ですが、子どものケガやキズの手当てに関する内容を予定しています。詳細はおってお知らせします。皆様のご参加をお待ちします。

(講演会のお知らせ)

静岡県寄生虫症研究会 第13回研究総会

日　時　2008年9月13日(土)
会　場　アクトシティ浜松
　　研修交流センター6階
(特別講演会)　13:45 ～ 15:15
演　題　**「当院で経験した寄生虫症」**
講　師　**東京都立墨東病院感染症科**
　　大西健児 先生
(一般演題)　15:30 ～ 17:00
参加費　1,000円
　　(非会員はこの他に年会費1,000円)
(交流会)　17:15 ～ 18:30
交流会費　1,000円
連絡先　静岡県寄生虫症研究会事務局
　　(浜松医科大学感染症学講座内)
　　〒431-3192　浜松市東区半田山1-20-1
　　TEL 053-435-2338
　　FAX 053-435-2337
　　E-mail:dptparas@hama-med.ac.jp

予約受付中!! 政府管掌健康保険の生活習慣病予防健診

静岡県予防医学協会では、今年度から本部(静岡市)、総合健診センター(藤枝市)、西部検査所(浜松市)の3ケ所で、政府管掌健康保険(社会保険)の生活習慣病予防健診が実施できるようになりました。

健診の申込みは、静岡本部(本部及び総合健診センター分)と西部検査所で承っており、健診の内容は一般健診、付加健診(腹部エコー・眼底検査等)、乳がん・子宮がん検診、肝炎ウイルス検査で、それぞれに指定の年齢基準があります。

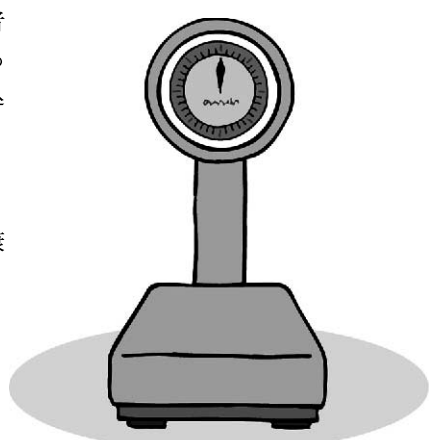
また、40歳から74歳までの方で健診の結果「メタボリックシンドローム」とされた方は、その程度により『動機づけ支援』か『積極的支援』のいずれかの特定保健指導を受けることもできます。

社会保険に加入している事業所等においては、既に(財)社会保険健康事業財団静岡県支部から平成20年度の健診のご案内と申込書が届いていると存じますが、社会保険の生活習慣病予防健診は年度内1回に限り、医療保険者である社会保険の費用負担(補助)が受けられ、本人の自己負担が軽減されるという大きなメリットがあります。

したがって、従来、当協会で健康診断を実施されている方で、医療保険者が社会保険である場合はこの制度をご利用いただくようお勧めしますとともに、新規のお客様にも制度に関するお問合せを含め、随時お電話にてお申込みを受け承っております。

なお、この健診事業は、社会保険の予算の範囲内で行われていますので、お早めのお申込みをお待ちしております。

この機会に、お一人でも多くの方に当協会の健診をご利用いただき、健康管理にお役立ていただきますようご案内します。



【申込み電話番号】
・本　　部(静岡市)　054−278−7716(藤田)
・西部検査所(浜松市)　053−422−7800(小池)